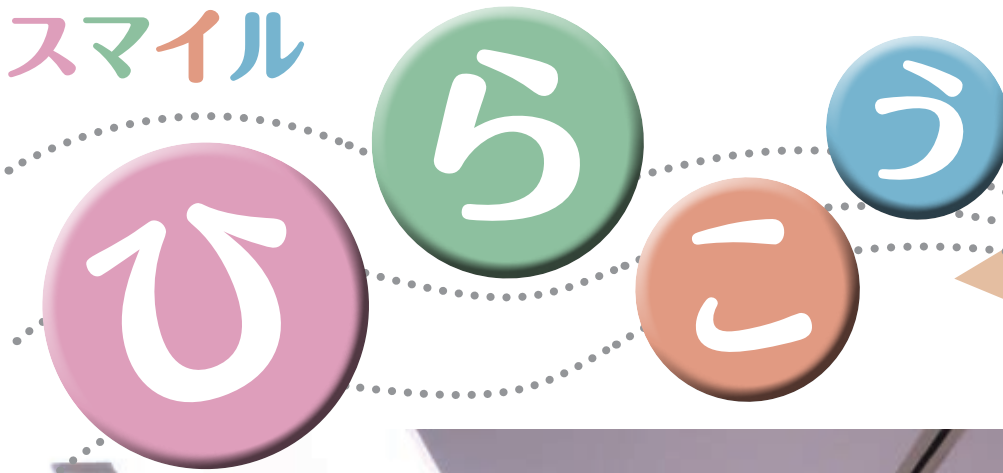


スマイル



特集1

眼科新体制のお知らせ

特集2

肝臓病教室についてのご案内

平成27年度新入職員歓迎会／CEのつぶやき⑩／エキスパートナーズ⑩／
副院長のひとり言⑦／地域医療連携室

眼科新体制のお知らせ

平成 27 年 4 月に、大阪市立総合医療センターより西山佳寿子医師が赴任いたしました。これで、当院眼科の診療体制も二人体制となり、これまでの白内障手術や外眼部手術に加え、硝子体手術にも注力してまいります。それに先立ち、硝子体手術装置 Constellation® や広角眼底観察システム Resight® を導入いたしました。また、外眼部からの網膜剥離手術にも対応可能となっております。網膜剥離、硝子体出血、黄斑円孔、黄斑上膜など、硝子体手術適応の患者様がおられまし

たら、是非ご紹介の程よろしくお願いたします。また、これまで通り、白内障手術、外眼部手術、緑内障手術、抗 VEGF 療法（硝子体注射）も引き続き取り組んでまいります。今後とも、従前に変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



眼科副部長
鵜木 則之



硝子体手術装置



広角眼底観察システム



マルチスキャンカラーレーザー光凝固装置

	月	火	水	木	金
午前	鵜木	西山	鵜木	西山	鵜木
午後	検査 (完全予約)	(手術)	検査 (完全予約)	(手術)	西山 (完全予約)

午前：8 時 30 分～ 11 時 午後：2 時～ 4 時

ご紹介に際しましては地域医療連携室に FAX
または電話にてご一報のほどお願いたします。

直通電話 072-808-0010
直通 FAX 072-808-0020



助手・佐伯 看護師・小川 受付・雨宮 受付・西村
視能訓練士・戒能 医長・西山 副部長・鵜木 視能訓練士・吉田

新任挨拶



眼科医長
西山 佳寿子

はじめまして、眼科の西山と申します。熊本生まれ、久留米大学医学部卒業、熊本大学眼科医局に入局し、その後、小倉記念病院に入局し、結婚、出産後、夫の仕事で京都大学眼科の医局に入り直し、京都に転居しました。京都にきてからは大学、滋賀県立小児保健医療センター、京都博愛会病院（ここで3人目出産）、大阪市立総合医療

センターで勤務しておりました。今回、小倉記念病院で一緒にお仕事させていただいた鶴木先生と、再度一緒にお仕事することになり、ありがたいご縁だと思っています。いろいろご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯がんばりますので、どうぞよろしく願いいたします。

平成27年度新入職員歓迎会

今年も当院の「宝」が増えました。例年、4月1日の入職日から1週間おこなう新人オリエンテーションの一環で歓迎会を開催しました。入職者たちは緊張のなかにも同期の親睦を築いたものと思います。（4月3日「KKR 京都くに荘」にて）

平成27年4月採用人員

看護師26名、医師3名（眼科医師、循環器内科後期研修医、前期研修医）、薬剤師2名、臨床検査技師2名、放射線技師2名、管理栄養士1名、事務員2名



肝臓病教室についてのご案内

都道府県別にみて大阪府は肝臓がん死亡率、肝炎ウイルス感染率も共に非常に高い地域であることから、枚方公済病院消化器内科では肝臓がん・肝硬変・肝炎診療にも力を入れております。その一環として、当院では慢性肝臓病をかかえる患者さんやご家族を対象に、肝臓病に関する肝臓病教室を2ヵ月に1度定期的に開催しております（奇数月第4週水曜日14：00～16：00、当院セミナールーム1、自由参加、参加費無料）。

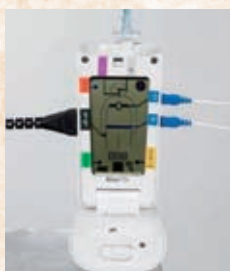
毎回テーマを変えて肝臓専門医、薬剤師、管理栄養士、健康運動指導士、看護師から最新の医療情報提供や食事・運動の実践方法や肝臓病の予防と治療に関する講義を行い、引き続いて患者さん同士によるグループワー

ク（情報交換）を行ってスピリチュアルケアにも努めております。この肝臓病教室は枚方市内で初めてとなる取り組みであり、健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業の一環として取り組んでおり（枚方市後援）、枚方市および近隣より毎回多数の方が参加されて好評を得ております（右下表参照）。

慢性肝臓病は地域で完結できる全人的医療をめざし、内科・外科に片寄らず、ガイドラインに沿った正確な情報提供を行った上で、チーム医療の主人公である患者さんにやさしい・納得の医療を肝臓チームがサポートする形で実践しております。肝切除適応例は京都大学肝胆膵・移植外科と連携のもとに当院において肝臓がん手術を行っており、肝移植適応例は京都大学とス



CEの つぶやき ⑪



PSG装置「AlicePDX」

新年度となり、早くも1ヶ月が経ちました。環境が変わった方も多く、この1ヶ月は大変だったのではないのでしょうか。五月病とも言われるように、今が疲れやストレスのピークになりやすく、体調を崩しやすい時期でもありますので、ご注意ください。

疲れを取るには睡眠が一番ですが、眠ることができない睡眠障害の

方が増えているようです。ストレス社会であり、現代病とも言えるのかもしれない。また、パソコンやスマートフォン、タブレットの普及によりディスプレイを見る機会が増えています。夜遅くまでディスプレイを見ていると眠りの妨げになるようです。私自身、パソコンのハードユーザーですので、睡眠障害の予備軍なのかもしれません。

ムズな医療連携を行い高い診療水準にあります。また、外来においては日本肝臓学会肝臓専門医による専門外来を行っております。肝臓病教室では肝臓がん、肝炎に興味のある方や病気への不安や検査や治療に関心のある患者さんだけでなく、ご家族の参加も歓迎しています。誘い合わせて枚方公済病院の肝臓病教室へ足をお運びになってください。



肝臓病教室 奇数月第4水曜日 14:00～16:00 セミナールーム1 (売店前)

自由参加、参加費無料

スタッフ 消化器内科肝臓外来 日本肝臓学会肝臓専門医 青木信裕 木曜午後
消化器内科肝臓外来 日本肝臓学会肝臓専門医 木戸政博 月曜午後
山本浩之薬剤師、原智恵管理栄養士、坂本真実健康運動指導士、3階消化器病棟看護師、西田清美診療情報管理室課長



消化器内科

青木 信裕

平成26年

開催日		テーマ	参加者数	担当
3月26日	第1回	肝硬変とその合併症に対する治療	27名	医師 薬剤師 管理栄養士
5月23日	第2回	慢性肝炎とは：抗ウイルス治療について	41名	医師 薬剤師 管理栄養士
7月23日	第3回	肝臓癌の予防とその治療について	30名	医師 薬剤師 管理栄養士
9月24日	第4回	肝臓の検査と運動食事療法について	40名	医師 健康運動指導士 管理栄養士
11月26日	第5回	酒と脂肪肝と肝臓病	34名	医師 看護師 管理栄養士

平成27年

1月28日	第6回	肝硬変とその合併症に対する治療	38名	医師 薬剤師 管理栄養士
3月25日	第7回	慢性肝炎とは：抗ウイルス治療について	34名	医師 薬剤師 管理栄養士
5月27日	第8回	肝臓癌の予防とその治療について	次回	医師 薬剤師 管理栄養士

睡眠障害には様々な原因があり、明るい環境やカフェインの摂取など比較的簡単に改善できるものもありますが、なかにはうつ病など病気によって生じることもあります。薬の中にも眠りを妨げるものがありますので、眠れなくてお困りの方は一度病院を受診されることをお勧めします。

当院では間もなく睡眠障害の検査

機器が新たに納入されます。睡眠障害の検査は脳波や筋電図、心電図、酸素飽和度などたくさんのセンサーを身体中につける必要があります、こんなので眠れるのかなと思うほど物々しい状態でした。新しく納入される機械はセンサーの数が少なくなっていますので、情報は減ってしまっていますが、比較的受けやすい検査になっています。6月には検査できる

体制を整えたいと考えおりますので、これから準備に追われることになりそうです。



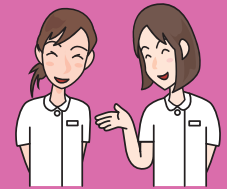
臨床工学技士

木戸 悠人

エキスパートナース

①

病院では、様々な専門職種が連携し、協力し合って医療を提供しています。そうした医療チームの中で一番の大所帯は、間違いなく看護部です。このコーナーでは、そんな看護師の活動やニュースを主に取り扱っていきます。



◎「ヒヨコマーク」の新人ナース

桜の季節を迎え、当院にも新しい風が吹き込んでいます。平成 27 年度 4 月 1 日より、看護部では 26 名の新入職員を迎えました。うち 20 名は、この春から看護師 1 年目となる新規卒業者です。

当院の新入職者には、病院オリエンテーションや基本的な看護技術の復習など、1 週間の集合研修が行われます。この集合研修の後にも、1 年を通して看護手順を学ぶ集合研修や、ふくろう研修（夜間入院 1 泊患者体験研修）、かゝるがも研修（夜勤の先輩看護師の後をついて回り、その業務内容を知る研修）など、さまざまな研修が待っていますが、4 月 2 週目よりそれぞれの病棟・部署へ配属となります。

これまで看護学校で学んできた知識や、実習を通して身につけてきた看護技術を生かし、臨床の場で 1 人の専門職者として従事する。それは、ようやく学生という立場から社会人・専門職者として、患者さまと向き合うこととなる大きな一歩です。看護学生は看護師のたまごですが、新規卒業者である 1 年目は、いわばヒヨコ看護師。まずは先輩看護師に付き従い、1 つずつステップを踏んで成長していけるよう指導を受けているところです。しかし、なんとといっても院内において看護部は大所帯。当院は 1 号館から 4 号館まで広い敷地を持っており、所属が違えば同



じ看護師でもベテラン看護師なのか、ヒヨコ看護師なのか、正確な見分けができないこともあります。

当院では、この 1 年目のヒヨコ看護師を病院全体で暖かく育てていこうという取り組みの 1 つとして、昨年度よりリニューアルした名札に合わせて新規卒業者ヒヨコマークを導入しています。平成 25 年度までは名札のデザインが異なったため、同様の取り組みは行われていたましたが、可愛いヒヨコマークではありませんでした。

当院ご来院の際、この新規卒業者マークがお目にとまりましたら、頑張る 1 年目看護師を暖かく応援していただければ幸いです。



1 号館 4 階西病棟看護師 小川 誉世

地域医療連携室

この春、地域医療連携室に新しい仲間が増えました。副室長に医師 1 名と社会福祉士 2 名が増員し、さらにパワーアップできるよう室員一丸となり協力して業務に取り組んで参ります。今後ともご指導ご協力のほど、よろしく願いいたします。

このたび 4 月から医療連携室の副室長を拝命しました総合診療科の片岡です。当院にお世話になってから 2 年になりますが、連携室からは入院患

者さんの情報の取り寄せ、退院時には病状、ADL、家族さんの意向に見合う退院先の調整など一方的にお世話になるばかりでした。総合内科、総合診療科で診させていただいている患者さんは高齢で、認知症あり、ADL 低下の方が多く、特に連携室にはお世話になることが多かったと感謝しています。今後も病状が回復されても退院支援が必要である患者さんは多くなるであろうことを実感しており、十分に勤まるかはなほだ不安です。昨年度はなんとかクリアできた紹介率、逆紹介率の維持にも貢献すべき立場でもありま

すが、率の低さで足をひっぱっている科の一員として少しでも改善策を考えるようにとの叱咤かもしれないとも思っています。もちろん初診でとりあえずしんどいからという方が紹介状なしでやってこられる事情もご理解はいただきたいのですが。

室長田中満先生、高砂課長をはじめとする経験あるスタッフの方々にお手間をかけながらも、精一杯、努力させていただきますのでご支援の程よろしくお願い申し上げます。

副室長 片岡 宏



枚方公済病院 副院長
田中 満

いよいよ平成27年度が始まりました。当院にも38名の新人さんが入職されました。将来への大きな希望を抱いている人、国家試験の合格発表まで不安な日々を過ごした人、どんな人との出会いがあるか楽しみにしている人などさまざま思いを抱いていると思います。皆さん方の周囲ではいかがでしょうか。当院の野原病院長は新人の方に「あなた方が病院に何ができるかを考えなさい」と訓示されました。私が京大に入局して暫らく経った頃、島根県立中央病院に赴任することになりました。当時の杉浦病院長にご挨拶に行くと、「君は何を持ってきたかね?」と尋ねられました。一応手土産は持っていきましたが、私が怪訝な顔

をしていると、「何か新しい医療技術を提供できるかね?」とおっしゃいました。少し考えてから、小児の高カロリー輸液管理と中心静脈ラインの穿刺留置ができます。」と答えると、杉浦先生は満足そうな顔をされて「新しいドクターが来ると何か新しい医学知識や技術を持ってきてくれる。私はそれが楽しみなんだよ。」と話されました。そのとき自分は新人だけど周囲から何かを期待されているんだなあと感じ、その後の励みになりました。

新人の皆さん、私たち周囲のものはあなた方の何色にも染まっていない無限のエネルギーに期待しています。その期待に応えるようがんばってください。

理念と基本方針

理念 医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。



4月1日から勤めております、青木宏倫です。

前職では、社会福祉協議会で地域福祉を学んできました。医療現場の最前線に行く、また医療制度の狭間を埋めるソーシャルワーカーとして、“医療”“地域福祉”双方の目線で様々な取り組みを行っていきたいと思います。今後ともよろしく申し上げます。

青木 宏倫 (社会福祉士)

5月より地域医療連携室にてお世話になることになりました酒巻と申します。

先輩方に教わりながら早くお役に立てるよう一生懸命頑張ります。ご迷惑をおかけするかと思いますが、どうぞご指導・ご鞭撻の程宜しく願い申し上げます。

酒巻 美紗 (社会福祉士)



枚方公済病院 地域医療連携室 平成27年度メンバー

前列右から 西田 知佳/大友 喜志子/丹羽 郁子 主任(社会福祉士)/宮崎 又乙 副主任(看護師)/中島 慶子(社会福祉士)/酒巻 美紗(社会福祉士)
後列右から 片岡 宏 副室長(総合診療科部長)/田中 満 室長(副院長・外科医)/高砂 直樹 事務課長/青木 宏倫(社会福祉士)

編集後記

新緑の眩しい頃を向かえ、地域医療連携室は新しいスタッフを加えました。これからは室長、副室長とともに看護師1名、社会福祉士4名、事務員3名、総勢10名で地域の先生方の依頼に対応していきます。今後ともよろしくお願いいたします。

このたび災害発生時の緊急医療に備えるため防災用テントを準備いたしました。新型インフルエンザなど、感染症パンデミック時にもトリアージ用としても活用を考えています。「備えよ常に」です、訓練だけで終わるようお願いしております。

地域医療連携室 高砂 直樹



(災害対策委員及び施設用度課員による組立て試験)



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093
<http://kkh-hirakoh.org/>